

建築設計科

インテリア設計実習 1

対象	2年次	開講期	前期	区分	選	種別	実習	時間数	60	単位	2	
担当教員	丸山尚子			実務経験	有	職種	建築設計					

授業概要

インテリア設計のコンセプトのまとめ方や表現技法などを演習を通して身につける。

到達目標

次の4点を到達目標とする。①家具の三面図について理解し、整合性の取れた図面の作成ができる。②室内の実測方法を理解し、実際に測量したデータをもとに図面化することができる。③現況の構造等を理解した上で室内空間をデザインすることができる。④様々な状況を想定した上で適切、かつ、コンセプトに沿った素材を選び表現することができる。

授業方法

講義と実習を中心に授業を進め、理解度を深める。コンセプトに合った家具や素材、並びに用途、形態によって必要となる居室や動線計画を考え検討し、理解を深める。中間提出や発表会での教員による評価をもとに、理解の到達度を確認する。

成績評価方法

授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。

履修上の注意

配布プリント、電卓、三角スケール、製図道具、トレーシングペーパー、色鉛筆、スケッチブックを毎回持参し、板書はスケッチブックに記録すること。メジャー(コンベックス)を持参することが望ましい。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。授業は段階的に進むため毎回出席し、授業内に作業を完了させること。日本工学院授業心得(学生用)を守ること。

教科書教材

初学者の建築講座建築製図 第3版 市谷出版社

回数	授業計画
第1回	ガイダンス
第2回	インテリア設計概要
第3回	既存建築物の現地調査

第 4 回	図面作成①
第 5 回	図面作成②
第 6 回	図面作成③
第 7 回	図面作成④・改修案中間提出
第 8 回	プレゼンシート作成①
第 9 回	プレゼンシート作成②
第 10 回	プレゼンシート作成③・改修案提出
第 11 回	マテリアルの選定①
第 12 回	マテリアルの選定②
第 13 回	マテリアルシートの作成①
第 14 回	マテリアルシートの作成②・提出
第 15 回	発表会、総まとめ